

## 各地よりのたより

## 神戸支部通信

**第25回例会** 昭和15年1月20日（於 ビーハイヴ食堂別室）出席者 11名。

山本先生より、牛座のカニ形星霧の経歴を、我國の歴史上に現れたる新星に關聯して説明され、一つの新星の行末と云ふものゝ話しあり。折柄、ラヂオ放送されし野尻抱影氏編曲の星の話の戯曲を聞く。其の後再び山本先生より“天文學の再出發”と云ふ題目にて、現代の天文學の普及發達の遅々たるを指摘され、大いにアマチュアの奮起を促さる。22時過ぎて散會す。

**第26回例会** 昭和15年2月23日（於 ビーハイヴ食堂別室）出席者 11名。

神田壹雄氏自製の昭和15年度の天文曆の青寫眞を持參され、各位に分與さる。いつものながら氏の熱心と好意を感謝せしめらる。次で、山本先生より“太陽系の構造と將來發展の展望”と云ふ題目にて、數十年來の恒星界の研究が再び我太陽系に新しき注意を向けられる傾向を指摘され、冥王星は、果して大遊星か、又は小遊星か、又、冥王星外にも我太陽系に幾個かの大遊星の有無の研究、或ひは流星は、他の恒星界よりも來るもの？とか、又は、金星の新しき現象、月面に於ける新現象等々、重ね重ね我太陽系の研究にも盡きる所なきを説明され、宇宙のいかに計り知れざるを思はしめられたり。

**第27回例会** 昭和15年4月19日（於 ビーハイヴ食堂別室）出席者 14名。

本日は我々アマチュアの大先輩たる H. W. Myers 先生の久々にアメリカより歸神の歡迎晚餐會を兼ねて開催す。

先生のアメリカ土産話等の座談會に花が咲く。次に、山本先生より“遊星の觀測談”，特に日中に現れる金星の眼視觀望等あり。久し振りにのびやかなる一夜を楽しむ。

**第28回例会** 昭和14年5月10日（於 神戸小學校會議室）出席者 10名。

山本先生より、南米に於ける各國の天文研究の狀況を詳細に亙つて説明あり。概して南歐人特有の享樂氣分の多き國柄にて、地味なる研究方面には一向力を入れる人もなきを話され、わづかにアルゼンチン國に幾分、それも獨人、米人等に依つて研究の端緒を開かれたる許りなるを話さる。先達て來神の在ブラジルの神屋氏等の研究奮勵を切望される。次に、コペルニクスの著書の譯文の一部朗讀と説明あり。

**第29回例会** 昭和15年6月14日（於 神戸小學校會議室）出席者 10名。

山本先生より“現代の宇宙觀”即ちシャプリ氏の球狀星團の研究によりて發表された宇宙の大きさの訂正が、英國のカム氏の遊星型星霧の研究に依りて唱

へられたるに關する説明を明細に亙つて説明あり。天文學研究の計り知れざる深さを思はれて、興特に深きを覺ゆ。後、最近米國に於て著されたる“百萬人の數學”の譯本の批評と、天文趣味者の一讀を勧めらる。

### 夏期天文講習大會

會 期 昭和15年八月3日(土), 4日(日) 兩日

午前8時—12時 講 演

午後8時—10時 觀 望

會 場 和歌山縣立圖書館講堂 (和歌山城內)

講 師 理學博士 山本一清氏

演 題 “天文の常識”

申 込 和歌山市役所内 學務課社會教育係宛

主 催 (東亞天文協會紀伊支部)  
(和歌山市學務課)

### た よ り

山本一清先生

(前略) 去七月1日の曉方に、月に接近した星の美觀を眺めて、とてもすばらしいと喜んでゐたものですが、貴翰を拜讀して、あれがベツレヘムの星につながりを有する運動と知り、驚いてゐます。無智なるものを見る目はいかにも空ろであることを悟り、非常に教へられるところ多くございます。世には小生と同類が實に多いであらうことを思ひます。有難く御禮申し上げます。

七月 10 日

大阪市天王寺區悲田院町28

梅 田 安 之

今般下記へ轉居仕候間、適宜御訂正願上候。

新住所 京都市上京區紫竹下芝本町72

(猪熊通北山通南入東側  
市バス上堀川車庫下車西一丁)

宇 野 良 雄

七月 17 日